

2026 年 7 月 31 日
ハウスバード株式会社

全国 25 都道府県から約 80 名が参加「地方から始まる空き家再生イノベーションフォーラム」を開催

— 官民連携による空き家活用の実践事例や連携モデルを共有 —

ハウスバード株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：伊集 将貴）は、6 月 24 日（水）「地方から始まる空き家再生イノベーションフォーラム」を開催いたしました。

本フォーラムは、地方自治体および金融機関関係者を対象とした招待制イベントとして開催し、全国 25 都道府県から自治体・金融機関を中心に約 80 名が参加しました。

全国で空き家問題が深刻化する中、金融機関、宿泊流通プラットフォーム事業者、空き家活用支援事業者のそれぞれの立場から、空き家活用の最新動向や実践事例を紹介するとともに、官民連携による地域課題解決の可能性について活発な議論が行われました。



当日のプログラム

■空き家まるごと解決システムの概要とこれまでの経緯 — 株式会社埼玉りそな銀行—



地域金融機関としての取り組みや、空き家課題に対するこれまでの実績、今後の展望について紹介しました。

■地方における宿泊マーケットの可能性 — Airbnb Japan 株式会社 —

地方における宿泊市場の動向や旅行需要の変化、空き家活用との親和性について講演しました。



■地方での空き家を活用した開業事例 — ハウスバード株式会社 —



実際の空き家活用事例をもとに、地域での開業支援や事業化のポイント、自治体・金融機関との連携事例について紹介しました。

パネルディスカッション

「官民連携による空き家活用の可能性と課題」をテーマに、各登壇者がそれぞれの立場から意見を交わしました。



「空き家問題のボトルネック」「官民連携の意義や理想的な在り方」「空き家を活用することによる地域社会への影響」などのトピックについて各社それぞれの視点から議論が行われました。

今後の展望

ハウスバード株式会社では、空き家を地域資源として活用し、地域経済の活性化や新たな事業創出につなげる取り組みを推進しています。

今回のフォーラムを通じて得られた知見やネットワークを生かし、今後も自治体、金融機

関、民間事業者との連携を強化しながら、全国各地における空き家活用の取り組みを支援してまいります。

また、本フォーラムを契機として、地域ごとの課題に応じた新たな官民連携モデルの構築を進め、持続可能な地域づくりに貢献してまいります。

【ハウスバード株式会社について】

私たちは「1日から貸せる家」をつくるプロフェッショナルです。このような宿別荘を創るためには、不動産・マーケティング・デザイン・建築・施工・運営管理など幅広い知識と経験が必要とされ、どれ1つ欠かすことはできません。家づくりというハード面から宿泊施設運営というソフト面まで、分野の領域を横断してトータルプロデュースができることが私たちの強みです。豊富な実績をもとにオーナー様に寄り添い、空き家を利活用して社会問題にも貢献してまいります。

会社名	ハウスバード株式会社（英語表記：Housebird Co.,Ltd.）
設立年月日	2016年9月5日
本社所在地	東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル 31階
代表者名	代表取締役 伊集 将貴
事業内容	旅館／ホテルの開業支援コンサルティング
公式 web	https://housebirdjapans.com/

＜プレスリリースに関するお問合せ先＞

ハウスバード株式会社 業務支援部 Email：Public_contact@housebirdjapan.com